

難民いのち基金にご賛同・ご支援くださるみなさまへ

難民いのち基金応援アクション  
教会や集会でのアピールのための〈台本案〉

難民いのち基金運営チーム

◆アピールくださる方へ

いつも難民いのち基金にご賛同・ご支援をいただき、誠にありがとうございます。息の長い支援として、難民いのち基金の活動を継続するために、応援アクションを始めました。このアクションのひとつとして、ぜひみなさんのつながりのある教会やグループや集会などで、ぜひ難民いのち基金についてご紹介・献金の協力呼びかけをお願いします。

とはいえ、「どんなことを話せばいいの?」「なにをアピールするのがいいの?」など、わからないことも多いですね。そこで、わたしたち基金運営チームでは、教会や集会でのアピールのための台本案を考えてみました。ぜひこちらを参考にして、アピールや献金の呼びかけにチャレンジしてみてください。一人ひとりの小さなアクションが、きっと大きなムーブメントとなって、難民・移民とともに生きる社会の実現を達成できると信じています。

---

◆アピール文案

\* はじめに

本日は「難民・移民なかまのいのち協働基金」のアピールの時間を頂きありがとうございます。わたしは、この「難民いのち基金」のを知り、難民・移民をはじめとする日本に暮らす外国人住民の方々の、生活をいのちをサポートする基金の活動に共感して、応援しています。今日は、難民いのち基金について、みなさんにも知っていただきたいと思い、アピールさせていただきます。

\* 難民いのち基金のはじまり

2023年6月9日、入管難民法の改悪案が国会で可決・成立しました。この改定によって、日本に生きる多くの外国人住民の方々、特に難民申請中や在留資格を失った方々は、不安定な経済状況、十分な医療・教育が受けられない中で、さらに深刻な生活困窮状態に追いやられてしまうことになりました。外国人住民本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協)は、これに対して抗議し、「難民・移民と共に生きる教会共同声明」を出して全国の教会に賛同を呼びかけ、126の教会・関係団体の賛同を得ました。

※詳しくは、外キ協ホームページで、ぜひ教会共同声明の全文をお読みください。

この教会共同声明をきっかけに、2023年8月から、難民申請者や仮放免者、在留資格を失った未登録の外国人、その一人一人のいのちと生活を支える市民社会の働きに連帯し、「難民・移民 なかまのいのちの緊急基金」を立ち上げました。全国各地のキリスト者、教会、修道会、団体・委員会等に広く呼びかけ、1年間で1,000万円を目標金額として献金を集め、そらを資金にして、難民・移民の方々を対象に1人3万円を支援金としてお渡しすることにしました。

\* 緊急基金から協働基金へ

この2023年8月から2024年7月までに、教会・修道会・団体、そして個人の皆さまから1000万円以上もの献金が寄せられ、313名に1人3万円の支援金を送ることができました。

2024年7月末で「難民・移民なかまのいのちの緊急基金」(「緊急基金」)は一旦終了となりましたが、同年8月からは3か年プロジェクトとして「難民・移民なかまのいのち協働基金」(「難民いのち基金」)を開始し、まずは「子ども支援」を実施することにしました。1年間で400万円を目標額に献金を呼びかけ、2025年6月までに85人の難民・移民の子どもたちに支援金を届けることができました。

**\* 基金の活動を通じて見えてきたこと**

これまでの活動を通して見えてきたのは、「入管難民法」の改悪をはじめ、日本の法律や諸制度が、日本に暮らす難民・移民の人たちの生活を追い詰めてしまう現状です。さまざまな事情によって、日本に逃れてきて難民申請中の方や在留資格を失い不安定な状況下で、衣食住などの生活者としての最低限の権利や、医療・教育・労働の権利も保障されない人たちがおられることを知り、わたし／わたしたちがいまできることは何かを考えながら活動を続けています。

**\* 難民いのち基金を知って応援してください**

毎月9日(ここのか)に、オンラインで開催している「ここのか祈禱会」では、基金の活動報告に加えて、難民・移民の方々の現状を知り共に祈る時間を持っています。また「オンライン入門講座」では、さまざまな支援団体の実務者や当事者からのお話しを通して、支援の現場や支援制度、必要なノウハウ、いまわたしに何ができるかを学び考える機会となっています。

自分ひとりだけでは難しくても、みんなで支え合うからこそできることがあるはずです。ぜひ、この社会で隣人／なかまとして共に暮らす難民・移民の人たちのために、この社会をすべての人にとって生きやすい社会とするために、「難民いのち基金」の活動にご賛同・ご協力をお願いいたします。

---

**◆ 献金を呼びかけるときのアイデア**

- ◇ 募金箱の設置が可能であれば、ポテトチップス(チップスターなど)や牛乳パックや箱ティッシュを再利用して、募金箱として置かせてもらおう。
- ◇ 難民いのち基金のチラシを配布しよう。  
→外キ協ホームページからダウンロードして印刷する。または、必要枚数を事務局から送付してもらうことも可能です。
- ◇ アピールをするご本人が、「私はこんな思いで、難民いのち基金を応援しています」と伝えるなど、ご自身の個人的な思いをちょっと加えるとアピール力がアップします。
- ◇ 基金ステッカー(1枚100円、1シート10枚入りから販売中)を購入して、賛同・献金してくれた方にプレゼントするのもいいかも♪

---

**◆ みなさんのご協力に心より感謝いたします。小さなチカラが大きなムーブメントになることを信じて、ひとりひとりの祈り・働き・行動をつなげていきましょう！**

(基金運営チームより)